

## はじめに

昨今、日本全国どこの病院でも外国人の患者さんが来院されていることと思います。

その時、「外国人の患者さんの対応はできれば避けたい」「誰か代わりにやってもらえないだろうか」と、ほとんどの皆さんが感じておられるのではないのでしょうか。

とはいえ、それでも避けることができない時は、知っている単語を並べて身振り手振りで説明することになります。日本語ならすぐに終わる説明も時間がかかり、非常にストレスのたまる仕事になってくると思います。

しかし、それは外国人の患者さんにとっても同じことです。言葉のほとんど通じない国に来て、病気になってしまった、どうしたらよいのか、病気だけでも大変ですが言葉も非常にストレスのたまる問題です。

この本は、そのような病院内での状況を救うために作成されました。

病院内では初診の外来受付からはじまり、各場所への案内、病状の聴取、採血の説明、X線撮影の説明、薬剤の説明、会計の説明など、場面に応じて多くの職種が患者さんとかかわり、説明を行っています。

私たちは2014年度より多職種による共同のプロジェクトを立ち上げ、自部署で日々行われている上記のようなシーン、そこで話されている内容を抽出したうえで、それらを英語へ変換し、同じ内容を英語で伝えることができる環境を整えました。

参加職種は、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、歯科衛生士、窓口事務職員であり、英語文の監修はサイマル・アカデミー法人事業部に依頼し内容を精査しました。

そして、このマニュアルを使用して英会話講習を実施し、ロールプレイを重ねることで、日々の業務を英語でも実践できる環境を整えました。

結果、このプロジェクトを通して、参加者が自信を持って外国人の患者さんに接することができるようになり、また、患者さんにとってもわかりやすくスムーズな対応ができるようになってきました。

まだまだ発展途上ではありますが、東大病院でのこの取り組みを皆さんと共有することで、日本全国の医療現場での英語対応を救いたいと考え、このたびの出版に至りました。

いつも日本語で同じ説明をしているのに英語ではできない、こんな時にどう言えばよいのか、日々のそういった悩みに答えられる本にすべく、プロジェクトメンバーをはじめ、院内の職員が知恵を出し合い作成された本書が、皆さんと外国人の患者さんとの接点で生じる様々な悩みを解決できれば、これほどうれしいことはありません。

それでは私たちとともに準備していきましょう。

本書は、上梓以来多くの皆さまに活用いただけてきたところ、このたび音声ダウンロード版として新たに発刊し、より手軽にアプリ等を用いた音声学習ができるようになりました。繰り返し聞いていただき、皆さまが自信をもって対応できる日が来るのを楽しみにしています！



英語マニュアル出版  
プロジェクトチーム リーダー

岡 陽介(事務)